

”志望校合格”レベルの学力まで高める

個別指導 数専ゼミ冬期講習会

高校入試は、高いレベルでは数学で決まる!数学ができれば合格する!
数学の問題文が長くなっています。数学で読解力が求められています!

■冬期講習の期間

前期 12月24日(木曜日)から12月29日(火曜日)までの連続6日間

後期 12月31日(木曜日)から1月5日(火曜日)までの連続6日間

(1) 次のA～Fの組の中から受講希望の組を選んでお申し込み下さい。(いずれも午後)

前期 A組(4:30～6:00)／B組(6:00～7:30)／C組(7:30～9:00)

後期 D組(4:30～6:00)／E組(6:00～7:30)／F組(7:30～9:00)

(2) A組～E組の中から、複数の組にわたって受講することもできます。

原則として、1つの組では6日間1科目の学習をします。2科目以上受講したい場合には、2つ以上の組を選択受講して下さい。(中途半端な学習で終わらせないためです。)

小学生 算数, 国語 **中学生** 数学, 国語, 英語, 理科, 社会 **高校生** 数ⅠA, 数ⅡB, 英語(英文法)

★以上の科目の中から、学習したい科目だけを選んで受講できます。

志望校合格に必要なレベルまで指導します。(例えば、東西南北高志望の場合は80%以上の正答率など)

(3) この期間中に出席できない日がある場合には、後日振り替え授業をしますので、その旨お申し出下さい。

■講習会の費用 (小学生, 中学生, 高校生とも同一です)

1コマの授業は90分で、1科目6コマを「1単位」として受講して下さい。

1単位(90分×6回)の受講料は、**15000円**となります。

(空調費, 教材費, 消費税などの経費は一切必要ありません)

■受講の申込「受講申込書」に必要事項を記入し、受講料を添えて教室まで持参して下さい。

*「受講申込書」はインターネットからダウンロードできます。教室にも用意してあります。



高校入試対策 (数学)

数学がもう少しできれば…

入試で、数学が80点台にのれば、東高、西高、南高、北高に合格できるのに…、という人は毎年かなりおります。逆に、数学ができないために、志望校のランクを1つ下げなければならないという人もかなりおります。そのような人のための入試で80点以上をとるための数学入試対策指導です。

入試で点を取る学習法

要するに、入試で80点以上をとればよい!

学習内容

入試に出ない学習をしても無駄です。だから、数専ゼミでは入試に出る内容だけを指導をします。40年分の過去問の詳細な分析をもとに入試で点をとるには何をどのように学習すべきかをデータ化し、それを元に指導します。たとえば、出題率が100%の問題ですが…

1次関数 20点以上の配点で、かなり難しい。

動点と面積、速さとダイヤグラム、水量変化、+グラフや面積の問題の中から出題されます。

方程式・連立方程式の文章題 配点10点で、やや難しい。割合、速さ、過不足の問題の中から出題されます。
円、相似、三平方の融合問題 (図形の総合問題)

20点以上の配点で、かなり、かなり、かなり難しい。これらは教えてもらわないと解けない問題が多いので、塾で指導します。(一人で勉強すると時間がかかり、しかもわからない。) その他の小問(計算、作図問題)これらは、一人で学習できるから、自宅学習になります。ひとり学習のための詳しい解説のついた学習資料を提供します。(40年分ありま

す)。もともと、自宅で学習していて解説が理解できないときは、塾にもってくれば、さらにわかるようになり返していねいに指導します。

■詳しい分析データ → suusenn.com

学習法

入試では、確実に点をとらなければならないので、「わかったつもり」式の勉強をしてはいけません。とくに、数学の苦手なひとは、解答を読んで、「理解」できるとわかったつもりになってそれでやめてしまいます。その問題を1週間後に解いてこららない、絶対に解けないから…

だから、数専ゼミでは、まず、全問学習記録をとり、解けなかった問題は次の授業にもう一度解かせます。自力で正解できるまで、何回もくり返します。つまり、確実に正解できる力をつけます。学習プロセスと結果は、毎回「学習記録」としてさしあげます。これを見ると、解けた問題とまだ解けていない問題が年度、内容ごとに一目でわかります。つまり、現在の合格力の到達点が「見えます」。だから、今、何を勉強すべきかが「見えます」。科学的な学習法です。確実に合格を勝ち取るための科学的な学習法です。この方法で学習すると、実際にどのような効果があるのかといいますと…。今年の春(2020年度)の実績です。

東高(探究科)3人合格 (受験生6名中)

【注】受験生は、毎年、10名以下で個別指導をしています。

中1, 2数学

高校入試を見据えた数学を学ぶ！

「1次関数、方程式文章題、図形の計量と証明」—これが山形県高校入試(数学)のキーワードです。山形東や西高をめざしている人は、すでに、このキーワードを目標とした学習を進めています。目の前の課題をこなすだけの日々の学習の蓄積だけで入試を突破する力を得ることではありません。入試レベルの問題は日々の学習でも解けるようにしておこう、という入試を意識した目標をもって日々の学習に取り組んではじめて難関校突破の力をつけることができるのです。冬講習。これを機会に、入試モードの学習に切り替えてはいかががでしょう。そのために、今やるべきことは、たとえば…

中学1年：

方程式文章題(割合、速さ、過不足の問題)

1次関数の基礎としての比例・反比例(応用とグラフ)

(反比例は2次関数との融合問題として出題されています。)

作図問題

中学2年：

1次関数(動点と面積、速さとダイヤグラム、

水量変化) + グラフや面積の問題

連立方程式文章題(割合、速さ、過不足の問題)

図形の計量・証明問題(三角形、平行四辺形)

今回の講習会は、これらの中から自分が今、やっておかなければならないテーマを選び、まさに、入試レベルの問題

を解けるようにすることが目標です。

難関校をめざしている人は是非参加してみてください。勝つための具体的な学習法が見えてきます。

もちろん、これらの学習は3年から始まる入試模試の土台作りにもなります。

小学5, 6年算数

高校入試を見据えた算数を学ぶ！

「1次関数、方程式文章題、図形の計量と証明」—これが山形県高校入試(数学)のキーワードです。入試を見据えた算数」とは、これらを学習するための基礎をきちんとかつハイレベルで学ぶ、という意味です。たとえば…

5年 小数の計算、平均、単位量あたりの大きさ、割合

6年 分数の乗除算、比、比例と反比例

これらの単元は、中学で数学が得意になるかどうかの「分水嶺」になる単元です。つまり、これらの単元の問題が自在に解けようになることが、そのまま中学の数学力につながり、それが高校入試の合否を左右します。山形東とか西高を志望校としている人は、すでに学習の目標を具体的にしばった学習をしています。「学校の課題をこなす」だけの受け身の学習から、意識的に目標をつかみとる学習に切り替えることが大切です。今回の講習会がそのきっかけにして下さい。

国語・長文読解

数学力をつけるために…

「設問」を根拠として、文章のこの部分にこのように書いてあるから答はこうなるはずだ、というように論理的に分析しつつ、根拠を確認して答を書くという“数学的”な読解技術を教えます。数学の問題文が高校入試はもちろん大学入試でも年々長くなり、読解力がないと問題の意味すらとれなくなってきています。だから、読解力を身につけることは数学力を身につけることでもあるのです。

読解力講座は、小学1年から中学3年生まで受講できます。今回の講習会で、この「数学力をつける国語読解」を体験してみませんか。

かけがえのないひとり一人の教育に徹して！

48年の指導実績

数学専門指導塾

数専ゼミ

山形市東原町二丁目10-8 (サンエー前十字路西へ80m)

TEL 633-1086

【特記】他の塾に在籍しながら、数学だけを数専ゼミで習うこともできます。

【特記】高校数学は、苦手分野を徹底攻略する復習、または苦手を作らない予習の個人指導です。